

月桃（オリジナル版より）

本調子

工	尺	工	尺	工	尺	中	四	上	中	上	上	六
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

七	六	五	尺	工	五	工	工	○	合	老	上	げ	つ	と
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

う	ゆ	れ	て	は	な	さ	け	ば	な	つ	の			
老	上	中	上	老	上	工	王	尺	中	上	○	合	老	上

か	お	り	は	み	な	み	か	ぜ	み	ど	り	
老	上	中	上	合	老	乙	合	乙	○	合	老	上

は	も	え	る	う	り	ず	ん	の	ふ	る		
老	上	中	上	老	上	工	王	尺	中	上	上	王

さ	と	の	な	つ	と	↓	E	N	D	
王	尺	中	尺	尺	王	王	○	○	工	工

工	五	五	五	六	六
---	---	---	---	---	---

一、月桃ゆれて 花咲けば
夏のたよりは 南風
緑は萌える うりずんの
ふるさとの夏

二、月桃白い花のかんざし
村のはずれの石垣に
手に取る人も 今はいない
ふるさとの夏

三、摩文仁の丘の 祈りの歌に
夏の真昼は 青い空
誓いの言葉 今も新たな
ふるさとの夏

四、海はまぶしい キヤンの岬に
寄せくる波は 変わらねど
変わるはてない 浮世の情け
ふるさとの夏

五、六月二十三日待たず
月桃の花 散りました
長い長い 煙たなびく
ふるさとの夏

六、香れよ香れ 月桃の花
永久（とわ）に咲く身の 花心
変わらぬ命 変わらぬ心
ふるさとの夏